

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム やまと			
開催日	平成 30年 3月 20日 (火) 14:00~15:00			
開催場所	グループホームやまと 地域交流室			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の代表	1名	利用者の家族	1名
	認知症の人と家族の会	1名		
	地域包括支援センター	1名		
事業所	グループホーム	2名		
出席者	事務局	2名		
欠席者	地域住民の代表 グループホーム管理者			

《 グループホーム 状況報告 》 (平成30年1月~平成30年3月)

基本目標	住み慣れた地域の中で、できることを共に喜びあい、愛あられるグループホーム						
利用者の状況 (H30.3.15 現在)	入居者	18名 (定員:18名)					
	年齢	65~96歳 (平均年齢:85.56歳)					
	介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
		8名	7名	3名	0名	0名	1.75
入退居の状況	新規利用者	1名					
	退居者	0名					

《 主なご意見 》

- ・面会簿の作成については家族関係がうまくいっていない場合、面会簿をみてトラブルになったと聞いたこともあり、一概に作ればいいというものではないので、メリットデメリットをきちんと把握し、必要な情報が家族に届くものにしていきます。
- ・本人は一人暮らし、子供は遠くにおられる家族の場合、家族の近くにいるのが良いのか、環境を変えないほうが良いのか迷うが、本人の意向を言葉でできるだけ聞き取る、今後はどんな暮らしがしたいのか、話ができる間に具体的に聞いておいた方が良いでしょう。
- ・帰宅願望があり家に帰ると帰りたくないとなるのが不安で帰れないというのを聞くが、グループホームでの居心地が良ければ、家から帰らないとはならないです。本人も家に居れない状況は理解されています。
- ・紙粘土の異食がありましたが、危ないから紙粘土は使わないではなく、普段から使い作品作りなどをしながら学習して行くと良いです。臨床美術で使うクレヨンも口に入れてもいいものなので、使ってみてはどうですか。
- ・施設がどういう所かは入居している人の顔をみるとわかります。家ではぶすっとしていたのに、グループホームでは穏やかな表情がみえるのでいい具合にしてもらっていると感じています。また利用者から挨拶をされたりする所は「ここはいいなあ」と感じられます。